



非営利組織 寺子屋くすくすの木



くすくすの木の
はじまり

子どもたちの未来につなぐ プロジェクト「小さな森の学校」

～学びたい人なら誰でも学べる地域の居場所～



非営利組織「小さな森の学校」
学習支援部門「土曜寺子屋」

代表 野田 由栄子

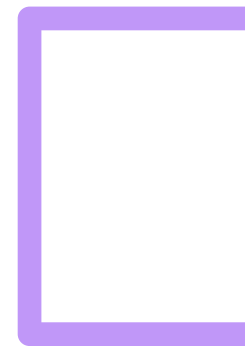
愛川町の課題解決に向けて



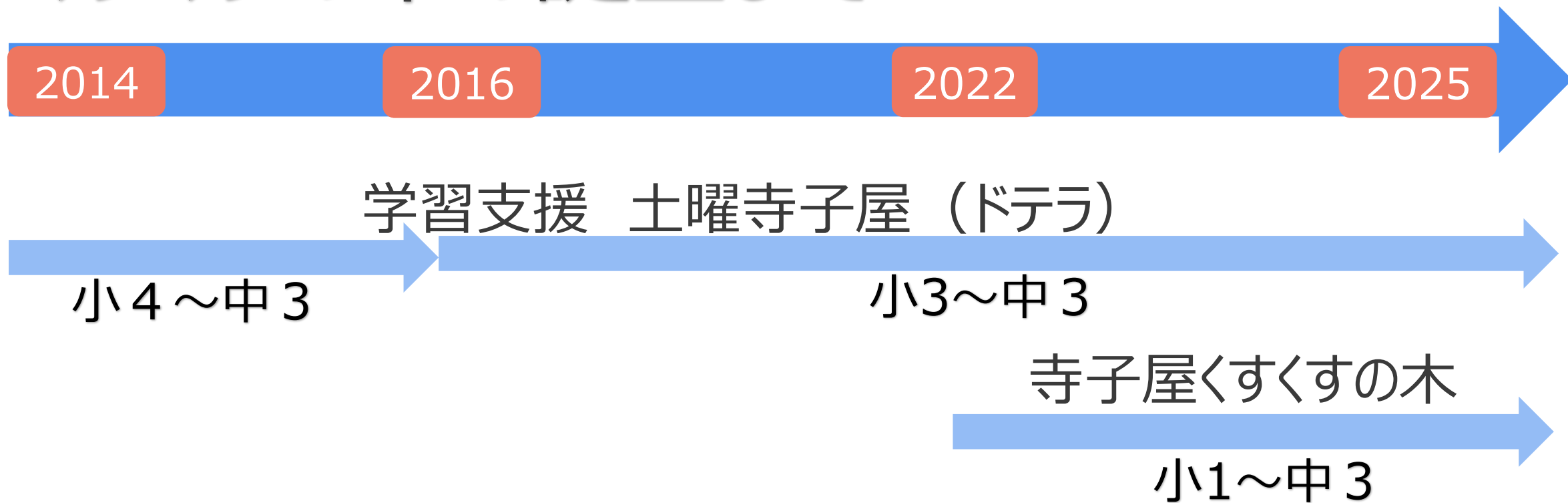
非営利組織

「小さな森の学校」の誕生

- ① 安心して勉強に取り組める居場所
学ぶことの楽しさ
- ② 共生する場
承認される喜び 自分に自信
- ③ 保護者への支援
孤立感の軽減、保護者同士の関わり
心の安定



くすくすの木の誕生まで



場所： 愛川町春日台センターセンター
曜日： 第2.3.4水曜
参加人数： 18名
スタッフ人数： 20 名



寺子屋くすくすの木

- ・長期欠席の児童生徒増
- ・外国籍住民の割合高
- ・経済的に困窮する世帯多

～行政と住民がともに連携し、地域の教育力を生かし、**不登校・外国籍住民**への支援～

切れ目のない支援



取り組み

1. 不登校児童生徒支援
2. プレクラス
3. プレスクール
4. 外国にルーツを持つ児童 1・2 年生支援
5. 子どもの得意分野の発掘
6. 保護者相談や活動支援



かす が だい

春日台センターセンター

き

も の

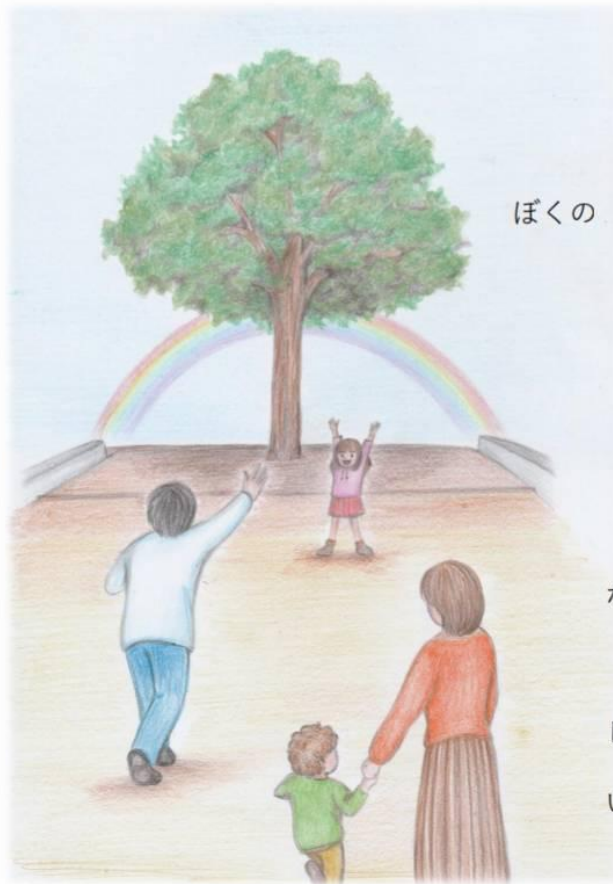
がたり

くすの木 物語

～ たんじょうの おはなし ～



このさきも ずっと
ずっと ここで、ちい
さなこが せいちょう
し、また ちいさいこ
を つれてきてくれて、
そのこが おおきく
なっても みまもって
いきたいと おもう。



ぼくの まわりで

あそんでね。



こんかいの おは
なしは ここまで。
また おはなしを
したくなったら き
いてね。



大切にしていること

- ・優しい心から 笑顔ひろがり 学べる
居場所 皆といっしょにつくる未来
- ・自分はかけがえのない存在
- ・わかる喜び
- ・安心 のびのび
- ・スタッフの心がけ 共有
- ・助け合い 認め合う 平和の祈り

活動を続けるために

- 寄り添い、応援（こども達＋保護者）
- 得意分野の発掘（学習＋ものづくり）
- 保護者・学校との連携、活動の見える化
- オンライン
- 送迎
- スタッフ振り返り、情報共有
- 協働事業（愛川町教育委員会指導室）
- 地域共生福祉施設を活用してのアクション





寺子屋くすくすの木 外国にルーツをもつ子ども 無料学習教室

2025/5/14
入学式
15時から



- ・だれ？ 愛川町に住む外国にルーツの小学1・2年・募集人数5名
- ・どこ？ 春日台センターセンター2階 寺子屋スペース
- ・なに？ 読み・書き・計算・生活・基礎的学習・体験学習・保護者支援・相談活動
- ・子どもの安全のため、保護者同伴または送迎が可能な方をお願いします。難しい場合は、参加にのりません。
- ・（送迎車あり）お申込 別紙の入会申し込み書に必要事項を記入し、郵送・メール等で送ってください。
- ・いつ？ 第2・3・4週水曜日 15:00~16:30

〒243-0302 愛川町春日台3丁目 6-38-002

ebettsu.genki@gmail.com

2025年度 寺子屋くすくすの木 無料学習教室 不登校児童生徒支援 & プレクラス

入学式：2025年5月14日(水)13:30

会場：春日台センターセンター
2F 寺子屋スペース

①と②は、別々に活動します。

募集

学習スタイルや送迎について
お困りの場合、ご相談にのります。



① 不登校支援 愛川町内に住む小中学生 5名

- 月3回、水曜の13:30~15:00まで活動します。

・読み、書き、計算、学習支援（対面/ICTを選べます）



- ・得意分野をのびす体験学習
- ・保護者支援・相談活動
- ・安全のため家族に送迎を依頼

② プレクラス サバイバル日本語指導を希望する 愛川町内に住む小中学生 5名

- 月3回、水曜の13:30~15:00まで活動します。

・学校に適応できるよう、日本語指導
と学校生活の体験を行います。



※応募方法 別紙に必要事項を記入し、代表宛てに、郵送
または、写真に撮って添付メールで送ります。

【Email: ebettsu.genki@gmail.com】 4/30まで

寺子屋くすくすの木 かわら版

Vol. 3~(9) 2024/9/30
寺子屋くすくすの木
代表 野田由栄子



明るく、盛に満ちた
楽しい時間でした。

9・28 「ジョイント・コンサート」
うた えんせう
歌・演奏・ダンス・ピアノ



これから

- 協働事業の継続（資金面）
- 児童生徒の人数増加
- スタッフ不足
- 場所の狭さ
- 送迎
- 支援者側からのアプローチ



ご清聴ありがとうございました

